

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名		放課後等デイサービス ひーす	公表日			令和7年 4月 21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室のほか隣接して運動場があり、近隣には金川の森公園がありよく利用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		リハスタッフの応援なども受けて適切に配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ワンフロアーで目が行き届き、バリアフリーとなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回使用後は掃除をし清潔を保っている おもちゃ、ゲーム、カード、絵本、機説机、遊び箱、マットなど雨天でも活動できるよう備品をそろえている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーテーションで区切ったスペースがあり、クールダウン等で使用できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月会議を行っている また毎日朝ミーティングと業務終了時の振り返りを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回アンケートをとり、ご意見に対して検討を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の会議で意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	施設内での検討を行っている	まだ第3者評価まで行えておらず今後の課題となっている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で感染対策等の研修を行っている 外部研修も年間3万円までの公費援助あり	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に沿った支援プログラムを作成し、ホームページで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング会議の内容も含め、スタッフ全員で検討している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管の計画をもとに、スタッフ全員で検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別計画はスタッフ全員で行っており、共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		利用開始時の評価と日々の行動観察を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動種目は曜日対抗種目やその日のメンバーごとに選び固定しないように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで確認し、業務終了後に振り返りを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後に毎回行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回記録を取り、その日の活動内容はご父兄にもメール添付でお知らせしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている モニタリング会議への出席	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者または児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間・月・週間予定を提出してもらい確認している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必ず引継ぎ会議に出席している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		依頼があれば提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	情報共有は行っているが、スーパーバイズや助言までは行っていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	長期休暇にはいろいろなところに出かけていき活動している	一緒に活動はまだできていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		峡東圏域の会議、笛吹市児童部会の会議に出席している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用ごとに活動内容を報告したり、送迎時にお話ししたり、何かあれば電話あるいはメールでお話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部の一般向けの研修等の情報があれば提供している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項として説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング会議や日頃の情報共有時に行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話、メール、来所持に行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会はないが、夏休み期間等で親子レクなどを企画し交流を図っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		メールにて利用ごとに活動内容を送っている また、毎年年末のおたよりを送り、年間の様子を送っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に説明をして同意を得ている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	今後検討していく	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		作成し行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		作成し行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		情報共有をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		情報共有をしている Eピベンの使用方法について勉強会を行った	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行っている	